～Co-creation22～

2022年6月期

第1四半期決算説明資料

２０２１．１２．０２



JASDAQ:6542・新市場：スタンダート市場を選択

株式会社　ＦＣホールディングス

本日の内容

1．第1四半期決算(2021年9月度)の概況

2．通期（2022年6月期）の計画　~Co-creation22（共創22）~

3．技術開発、主要事業（ESG事業活動・中核事業活動）の紹介

4．次期長期経営計画（2022年7月始動）に向けて

5．参考資料

◆ 本日のプレゼンテーション資料は、株式会社FCホールディングスおよびそのグループ会社の戦略・経営計画など、歴史的事実でない「将来に関する見通し」 を含んでいます。 係る将来に関する見通しは、現時点において入手可能な期待・見積り・予想に基づいており、その性質上、これらの期待・ 見積り・予想はリスクや不確実性を内在しております。 従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果、財務内容等は、係る将来 に関する見通しにおいて明示的または黙示的に示される情報と大きく異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。 当社は、 係る将来に関する見通しについて情報を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。
◆ 当プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売出、販売、勧誘を目的とするものではありません。 投資・その他のご判断にあたり、当資料 の内容に全面的に依拠することはお控えくださいますよう、 お願い申し上げます。

1.第1四半期決算（2021年9月度） の概要（1）受注高・損益計算書

新収益認識基準適用（会計基準の制度変更）による損益等への影響額：
売上高（△716百万円）、純利益（△82百万円）＝利益剰余金期首残高が同額増加しています

	2021.6月期 第1四半期 (百万円)	2022.6月期 第1四半期 (百万円)	対前年同期増減 (百万円)	対前年同期増減 (%)
受注高（建設コンサルタント分野）	7,092	7,561	469	6.6
売上高	774	1,746	971	125.4
営業利益（△損失）	△160	80	240	-
経常損失（△損失）	△156	88	245	-
特別利益（△損失）	0	-	0	-
親会社株主に帰属する四半期純利益（△損失）	△130	67	198	-

※本表では表示桁未満の端数調整があります

1.第1四半期決算（2021年9月度）の概要（2）建設コンサルタント事業の分野別受注高

期首計画どおり堅調に推移中

	2021.6月期 第1四半期 （百万円）	2022.6月期 第1四半期 （百万円）	対前年同期増減 （百万円）
モビリティ形成事業	2,079	2,270	190
環境、都市・地域創生事業	1,329	1,202	△126
社会インフラ・防災事業	3,683	4,088	404
合計	7,092	7,561	469

※本表では表示桁未満の端数調整があります

2.通期（2022年6月期）の計画（1）　売上高・損益の計画

期首計画どおり堅調に推移中　（新型コロナウイルス感染症の影響額は織り込み済）

	2021.6月期 実績 （百万円）	2022.6月期 計画 （百万円）	前期実績対比 （百万円）	前期実績対比 （%）
受注高	12,553	–	–	–
売上高	8,189	8,500	310	3.8
営業利益	895	950	54	6.1
経常利益	939	950	10	1.2
特別損益	△266	–	–	–
親会社株主に帰属する当期純利益	372	600	227	61.3

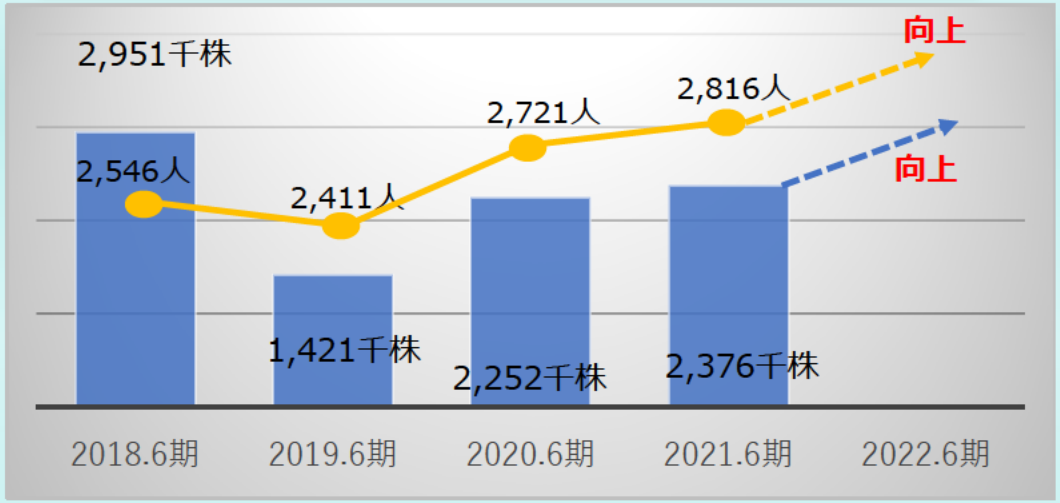
※本表では表示桁未満の端数調整があります

2.通期（2022年6月期）の計画（2）　株式関連施策の計画

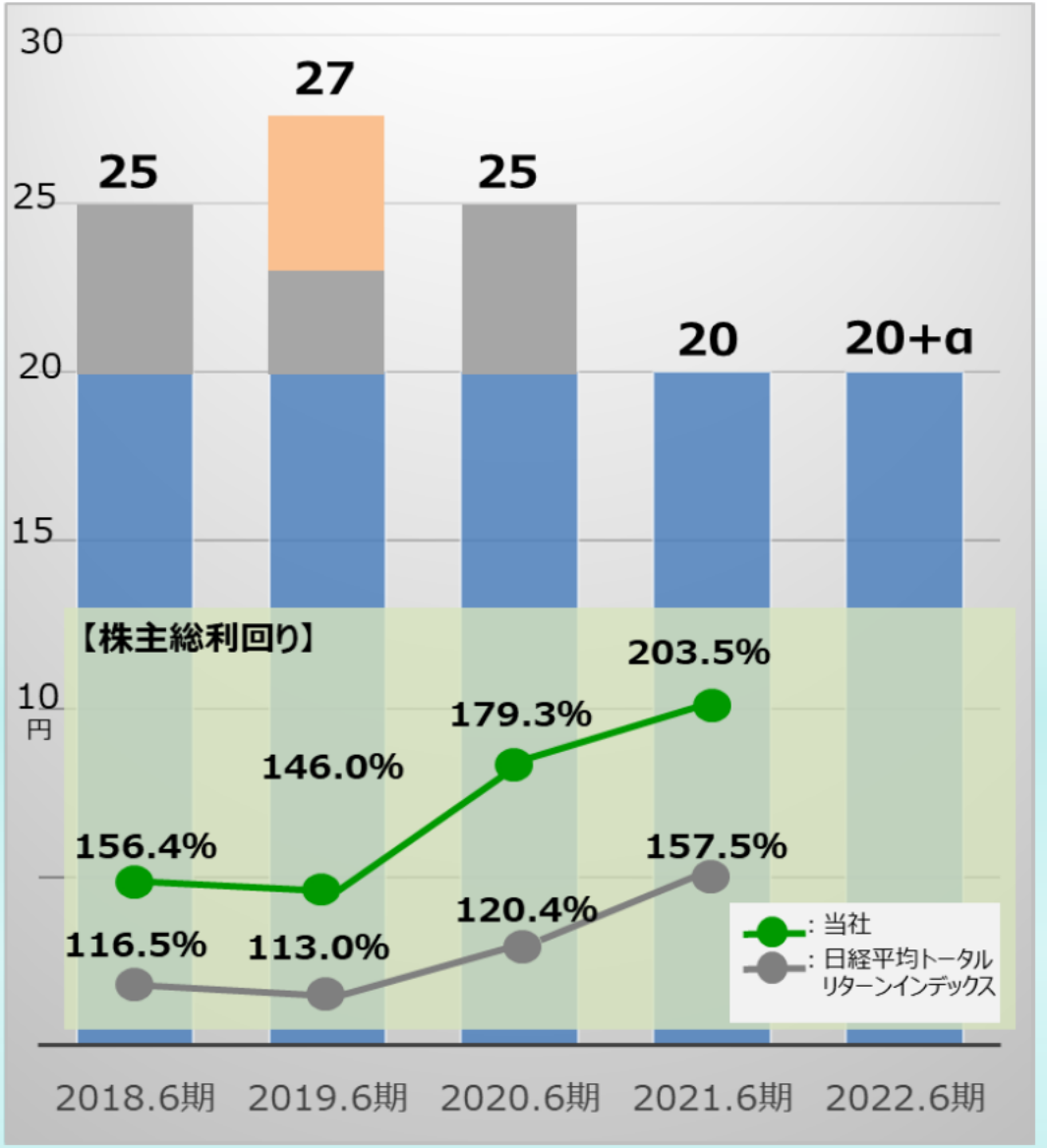
配当の基本方針（期首公約＋利益加算）

	2018.6期	2019.6期	2020.6期	2021.6期	2022.6期 計画
期首公約	20円				20円
業績加算	5円	2円	5円	—	α
周年記念	–	5円	—	—	—
合計	25円	27円	25円	20円	20円+α
配当金総額	93百万円	103百万円	106百万円	94百万円	103百万円＋α
			期首日に、1:1.1の株式無償分割実施		

株式年間売買高・株主数（増加を目指します）



配当金・配当性向（株主総利回り）



2.通期（2022年6月期）の計画（３）　財務比率の目標水準

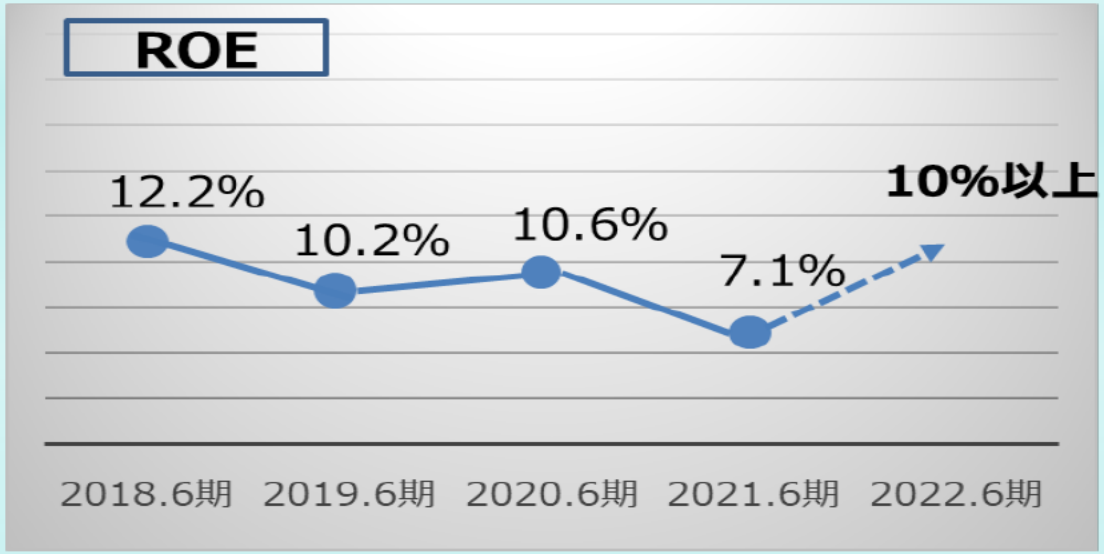
目標指標（成長性･効率性）

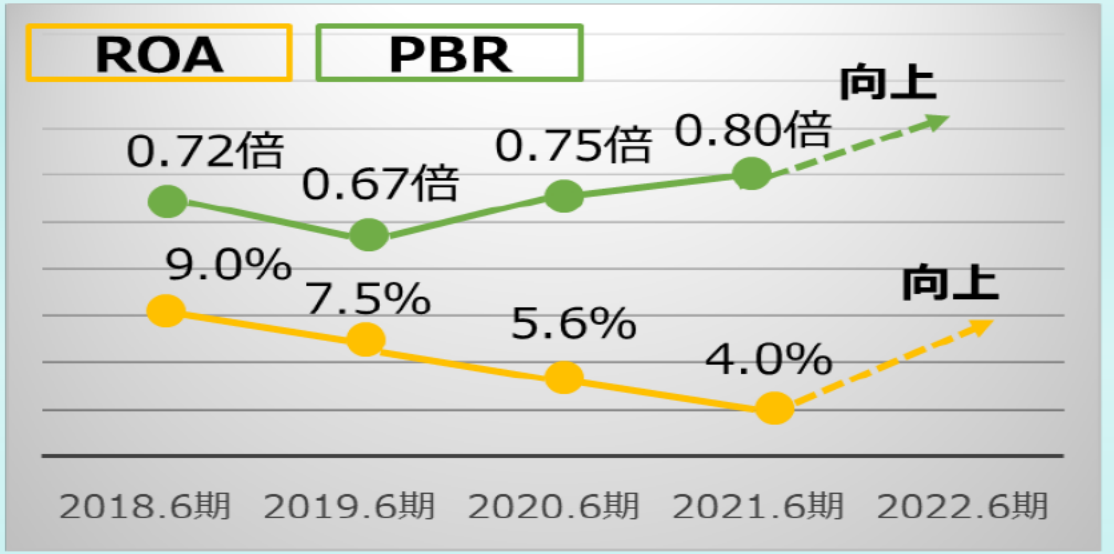
売上高成長率	５%/年
営業利益率	１０%以上
ＲＯＥ	１０%以上
売上高・研究開発費率	５%以上
株主総利回り	中長期的な向上

ＲＯＥ、ＲＯＡ、ＰＢＲの実勢推移

	2018.6期	2019.6期	2020.6期	2021.6期
ROE (%)	12.2	10.2	10.6	7.1
ROA (%)	9.0	7.5	5.6	4.0
PBR (倍)	0.72	0.67	0.75	0.80

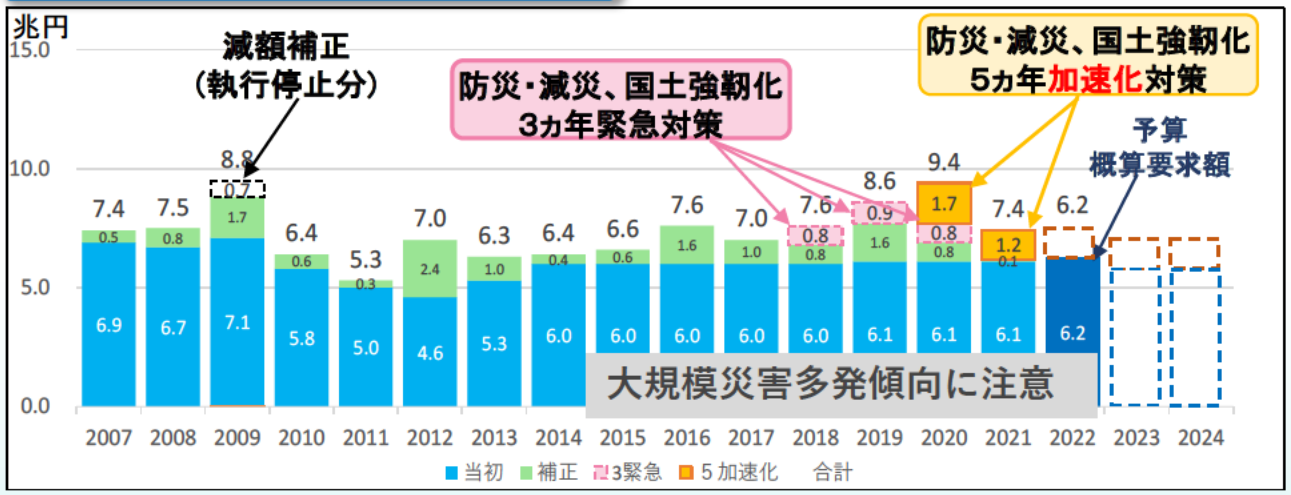
※6月30日時点（株式分割考慮）





2．通期（2022年6月期）の計画（4）　前提としている市場環境等

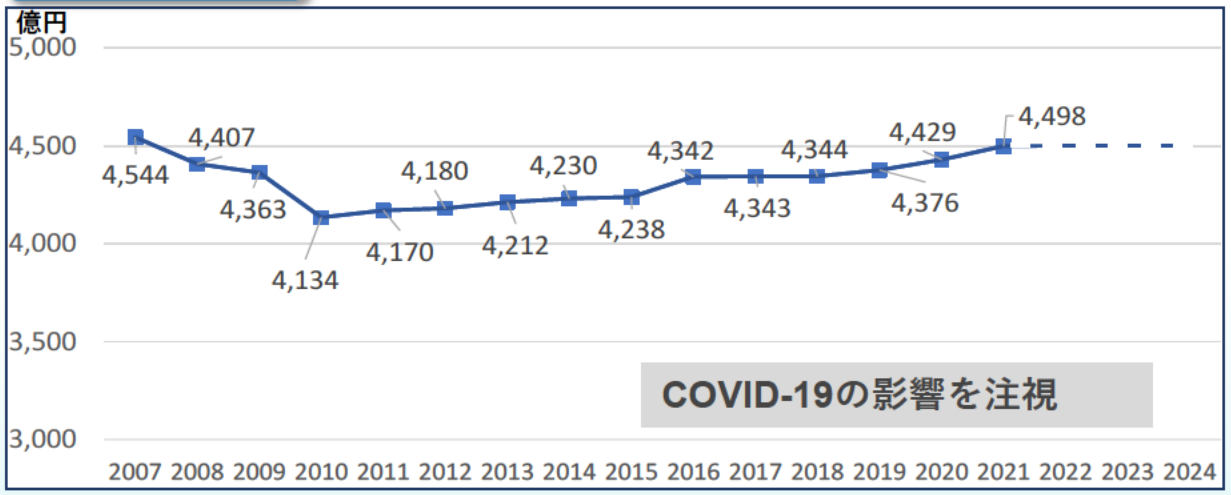
■国内の公共事業関係予算



◆公共事業関係費（政府全体）の推移

出典：財務省Webサイトより作成

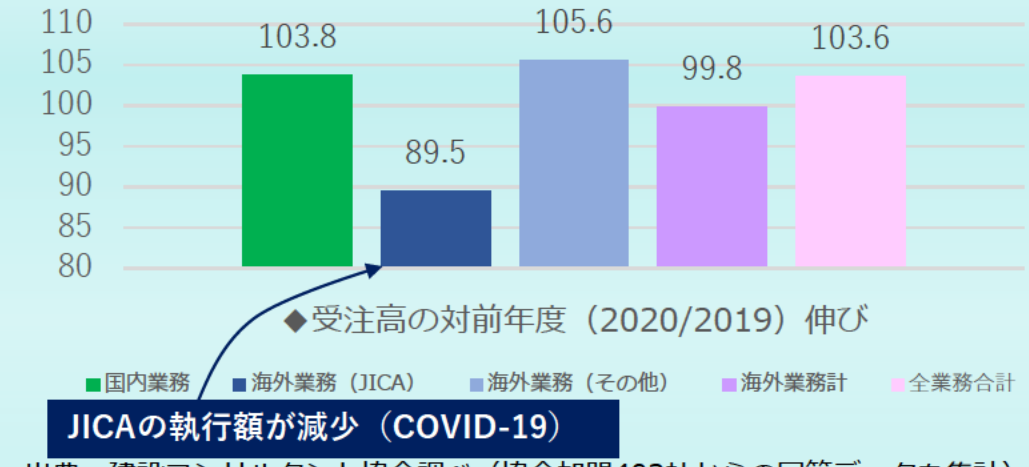
■ODA予算



◆外務省ODA予算（当初予算）の推移

出典：外務省Webサイトより作成

■建コン業界の受注高



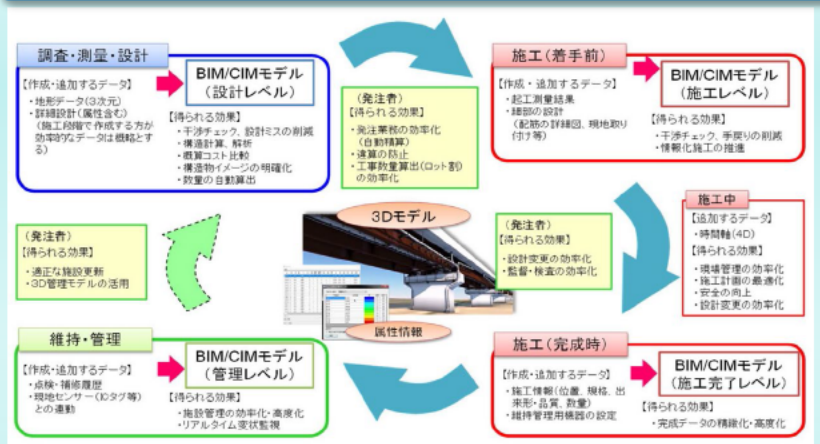
◆受注高の対前年度（2020/2019）伸び

JICAの執行額が減少（COVID-19）

出典：建設コンサルタント協会調べ（協会加盟402社からの回答データを集計）

※2019.04.01～2020.3.31の受注高に対する2020.04.01～2021.03.31の受注高の伸び

■ＤＸの推進（DX推進室稼働中：生産性向上）、BIM／CIM*、自社開発アプリ等



◆BIM/CIMの取組内容と効果（2023年設計業務に原則適用）

出典：BIM/CIM事例集　*BIM/CIM：Building/ Construction Information Modeling, Management



◆自社開発アプリ「まちめがね」

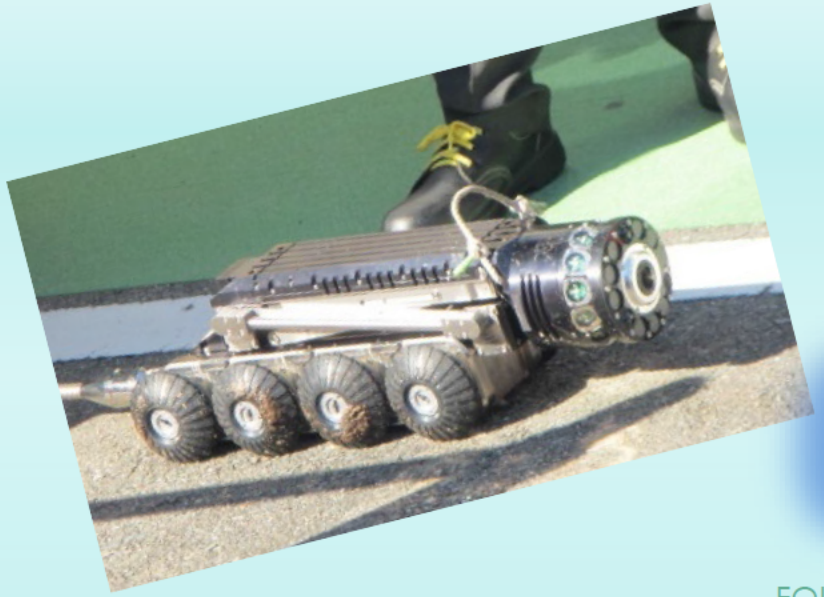
３.技術開発　サンドボックス方式（社内ルールの適用除外）よる開発促進

社内基本ルール（四半世紀以上継続中の部門別成果還元制度）を一部適用除外にした開発促進













ＦＣオリジナル

特許「竹繊維を混入した法面保護用吹付けモルタルの試験施工による実用性評価」

［製造］　（特殊回転刃物による切削）







竹繊維

学位論文テーマの実業化

［製品］　（L=20±10mm）



竹繊維

［特性］

	竹繊維		ビニロン繊維
気乾密度 (g/cm³)	0.77	7倍	1.09
表乾密度 (g/cm³)	1.27	＞	1.17
吸水率 (%)	87.2		12.1
繊維長 (mm)	19.8（平均）		18.0
直径 (mm)	0.59（平均）		0.2
アスペクト比	34		90
引張強度 (N/mm²)	154		490

3.技術開発事例　（1）環境防災②

モルタル配合名	繊維種別	繊維 (vol.%)	練混ぜ時間 (min)	W/B (%)	C (kg/m^3)	FA (kg/m^3)
N	ー	0	1.0	55	400	0
B+V1.5	竹＋ビニロン	0.375 + 0.375 = 0.75	1.5			
B+V2.0			2.0			
B+FA1.5	竹	0.75	1.5			90
B+FA2.0			2.0			

学位論文テーマの実業化



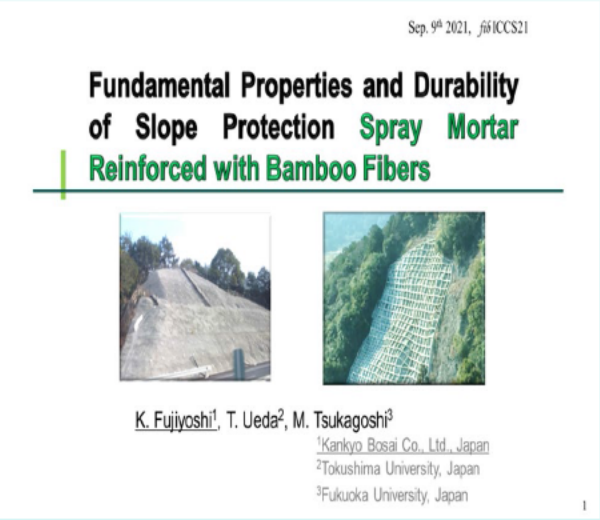
✔砂岩泥岩互層の岩盤地山
✔湿式吹付けプラント



✔吹付け面積：3m²/配合
✔吹付け厚：80mm
✔ラス金網：φ2.0×50×50mm
✔施工性評価



✔コア採取：28日，1年
✔圧縮強度，中性化


Sep. 9th 2021, fib ICCS21

Fundamental Properties and Durability of Slope Protection Spray Mortar Reinforced with Bamboo Fibers

K. Fujiyoshi[1], T. Ueda[2], M. Tsukagoshi[3]
[1]Kankyo Bosai Co., Ltd., Japan
[2]Tokushima University, Japan
[3]Fukuoka University, Japan

✔国際学会での評価

3.技術開発事例　（2）ＳＶＩ研究所&福山コンサルタント

高度防災情報システム（高松市に納入済）

学位論文テーマの実業化

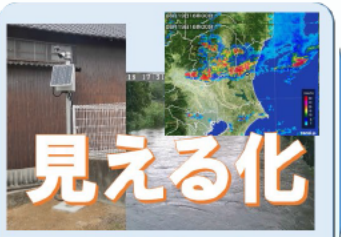
◆頻発する豪雨災害から命を守るシステム（3つの機能で安全･安心な生活確保へ貢献）
- IoT水位センサによる豪雨災害状況の「見える化」
- 降雨量等のビッグデータに基づくAIを活用した「分析予測」
- 3Dリアルハザードマップを活用した最適避難誘導等の「対処復旧」

※総務省「データ利活用型スマートシティ推進事業」の採択事業

現地設置の水位センサー

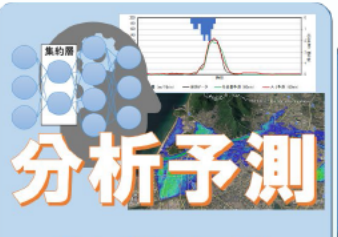


【状況の把握】



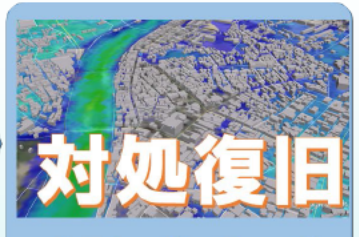
IoT水位センサ

【デジタルツインと近未来予測】



近未来AI水位予測

【最適避難誘導と早期の復旧】



リアルハザードマップ

災害対策本部での活用



http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/machidukuri/smartcity/

行動ビックデータ解析サービス「Fracti」の提供開始

◆人々の行動をスピーディーに分析
- 人々の行動に関するビッグデータ解析サービス「Ｆracti」の提供を開始
- スマートシティの実現、次世代モビリティ導入支援、マーケティング分野など幅広い分野での活用が期待されるシステム

※関連技術の特許出願（2021年6月）
- 移動履歴情報システムに関する特許を出願
- ユーザーが携帯する端末の識別情報を使用することなく、移動履歴情報の収集を可能

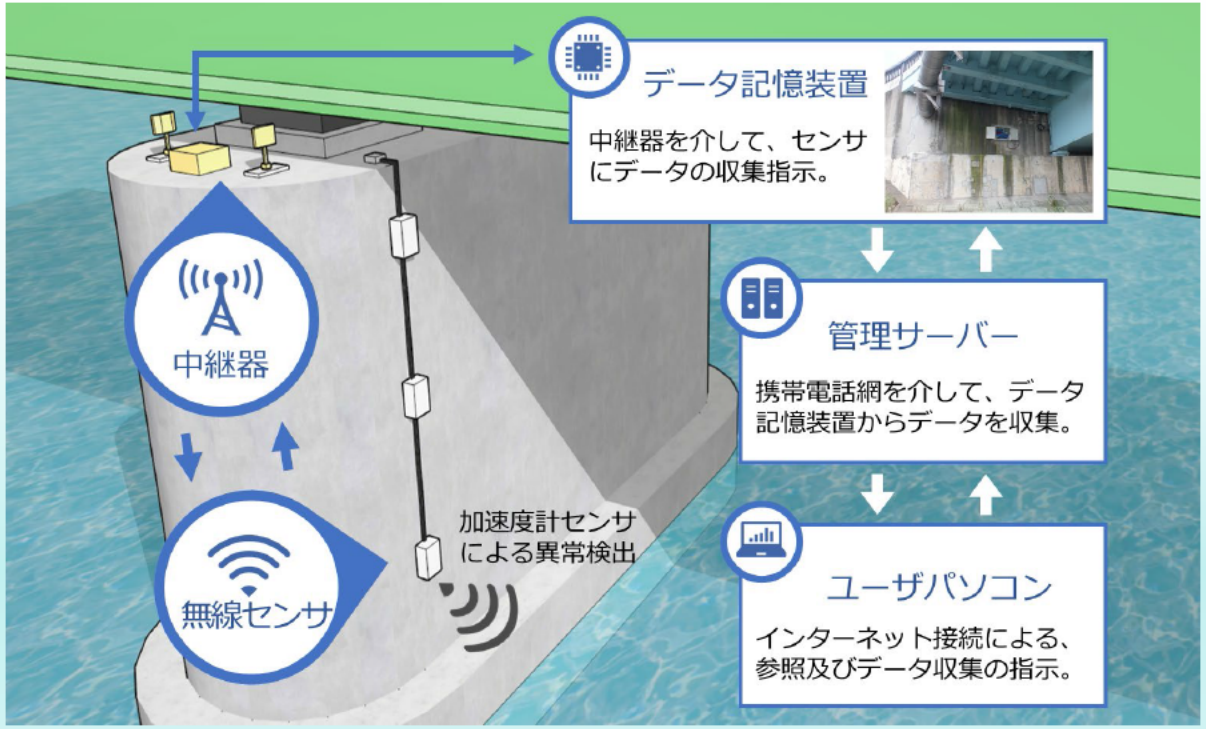


次のステージへ

※「Fracti」とは、「フラクタル構造」とヒトをイメージした「i」合わせた造語

下部工基礎の洗掘モニタリングシステム

- 河川内の下部工基礎の洗掘状況を遠隔地から監視
- 洪水時に橋梁の通行可否を判断し、管理者にメール通知



【同技術に関連したトピックス（ニーズの高まり）】
・R3道路メンテナンス事業補助制度要綱の改正
（点検の補助要件に、新技術の活用検討の実施が追加）
・豪雨災害による基礎の洗掘・沈下等の被害事例増加

国交省
点検支援
カタログ掲載

国土交通省点検支援技術性能カタログに掲載(BR030016－V0020)

適用実績
30件以上
※スポット計測含む

道路橋・鉄道橋で実績多数

内閣府の取り組み(SIP)での実証実績あり

特許取得

基礎構造物の健全度評価手法に関する特許取得済
（特許第4863813号）

各種メディアで紹介

日経XTECH、橋梁と基礎、次世代センサ、検査技術、日経コンストラクション　等

3.技術開発事例　（4）福山コンサルタント

ＡＩ技術の活用

（国研）土木研究所
・土木研究所を中心とする官民連携のAIを活用した道路橋メンテナンスの効率化に関する共同研究に参画
（公財）日本下水道新技術機構
・日本下水道新技術機構ほか8事業者からなる管路維持管理に関するAI技術開発の共同研究に参画

学位論文テーマの実業化

点検AI（画像解析）

ディープラーニングなどの画像解析技術を活用して、変状の抽出や要点検部位への誘導、採取データの分析等を行う点検AIについて、必要とされる性能を検討し、実務で使えるAIの開発を行います。



点検ロボットが取得した画像



例：点群データから生成した3次元モデルに点検記録を紐付けて管理

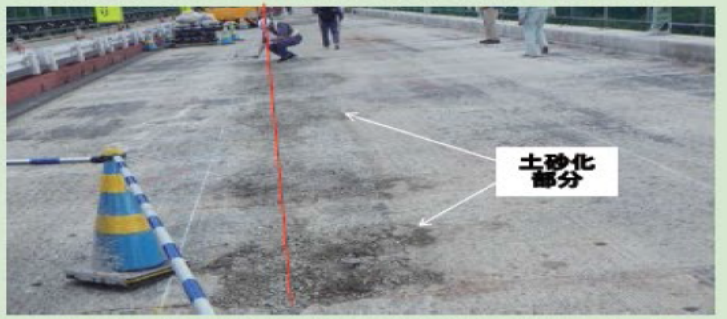
診断AI

AI 技術等により形式化した熟練技術者の暗黙知や、既往の点検データ等を基に、診断ロジックを可視化し、技術者の判断支援を行う AI を開発します。


桁や下部構造などの劣化状態と各種要因との相関

床版の土砂化等に対する診断

床版の土砂化を対象に、電磁波レーダー等の技術を活用して、水の早期検出技術の検証、及び、早期検出を前提とした措置法の検討を行います。



桁や下部構造などの劣化状態と各種要因との相関







電磁波レーダーと土砂化したRC床版のデータ例
ニチレキ資料より

出典：土木研究所HP

ビール工房廃棄物

●糖化粕、酵母粕



“心身”の健全化



地域資源循環・スローフード・エシカル消費の帰結



地域産品＝宝物づくり





●地域だからできる宝物づくり
地ビール（響エール）
ブランド牛（小倉牛）
白菜・キムチ（若松地物野菜）

商品価値をさらに高める!

新規性

循環型社会モデル

●地域内（北九州市）で、生産、加工、販売、資源循環が完結
●市内企業との連携を含め流通に至るバリューチェーンの構築

バイオマス活用技術投入（検討事項）



●堆肥化
ホップ栽培・市内農家への堆肥供給
●飼料化
肉牛の飼料
●アップサイクル化
健康食品、付加価値商品開発

地域での生産活動



●ホップ生産／野菜・畜産・・・

第1ステージ

3.主要事業の紹介　ＥＳＧ事業活動①－（2） エコプラン研究所＆福山コンサルタント

発生側

門司港地ビール工房



ビール粕

３５t／年
※若松エールは生産量２倍

第2ステージ

処理方法

堆肥化



・特殊肥料登録
・市内農家で**実証中**
（2021年4月より）

→有効性・施肥方法・改善
（現場での実践、圃場試験）

飼料化
（エコフィード）



・ビール粕をサイレージ化
・添加なしで試作

→成分分析、性能比較評価
（大手ビール会社との差異）

原料化
（アップサイクル）



・スーパーフード・健康ヘルスケア商品としての可能性
・生産設備、流通に課題

→実現可能性調査
（多様な連携）

3.主要事業の紹介　ＥＳＧ事業活動①－（3）エコプラン研究所&福山コンサルタント

２０２１年：ＦＳ調査完了　２０２２～２３年：実証事業の実施中　２０２４年～：本格稼働、他地域への展開

株式会社　FCホールディングス → ESG

株式会社　福山コンサルタント
株式会社　エコプラン研究所 → SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 響灘ビオトープ指定管理（自然環境）
- 官民連携（生物多様性）
- 若松エール（エシカル･スローフード）
- 副産物を活用した循環経済創出調査（資源循環）



出所：GPIF
年金積立金管理運用独立行政法人

３.主要事業の紹介　ＥＳＧ事業活動②　　地球システム科学

防災支援戦略策定のための基礎調査（ベトナム）

- 防災セクター全体の課題や、仙台防災枠組の実践に向けた必要な施策の整理・分析、ベトナム国政府への提言
- 日本の対ベトナム支援戦略の策定、優先事業候補と案件概要の取りまとめ、ベトナム政府とのコンサルテーション



津波･地震対策プロジェクト（エクアドル）

特にパイロット市の防災計画策定支援

- 津波警報技術プロトコルの開発と、津波避難体制の構築
- 減災計画と事前準備に焦点をあてたパイロット市の防災計画の策定
- パイロット市の建築制度の運用体制の整備





給水事業実施機関の能力向上技術協力プロジェクト（スーダン･バングラディッシュ）

防災・水



スーダン国州水公社運営維持管理能力強化プロジェクト（PROMISE）　JICA

- 都市給水施設のモニタリグ能力の向上支援
- 浄水場や配水施設の運転・維持管理能力の改善
- 水道利用者とのコミュニケーションを目的としたPR能力の改善
- 水道事業体経営管理能力の改善
- スーダン国全国の水道事業体間の情報共有体制の強化
- コロナ禍における日本からの遠隔緊急支援の実施





バングラデッシュ国公衆衛生工学局（DPHE） 総合能力強化プロジェクトJICA

- 給水施設建設と持続的な利用のための包括的技術ガイドラインの作成
- 給水情報システムの強化
- 全国の水資源ポテンシャルマップの作成と給水施設整備の中長期計画の策定
- 水源開発と給水施設選定の技術力の向上
- 安全な水利用に係る教材（ビデオ・冊子）の作成

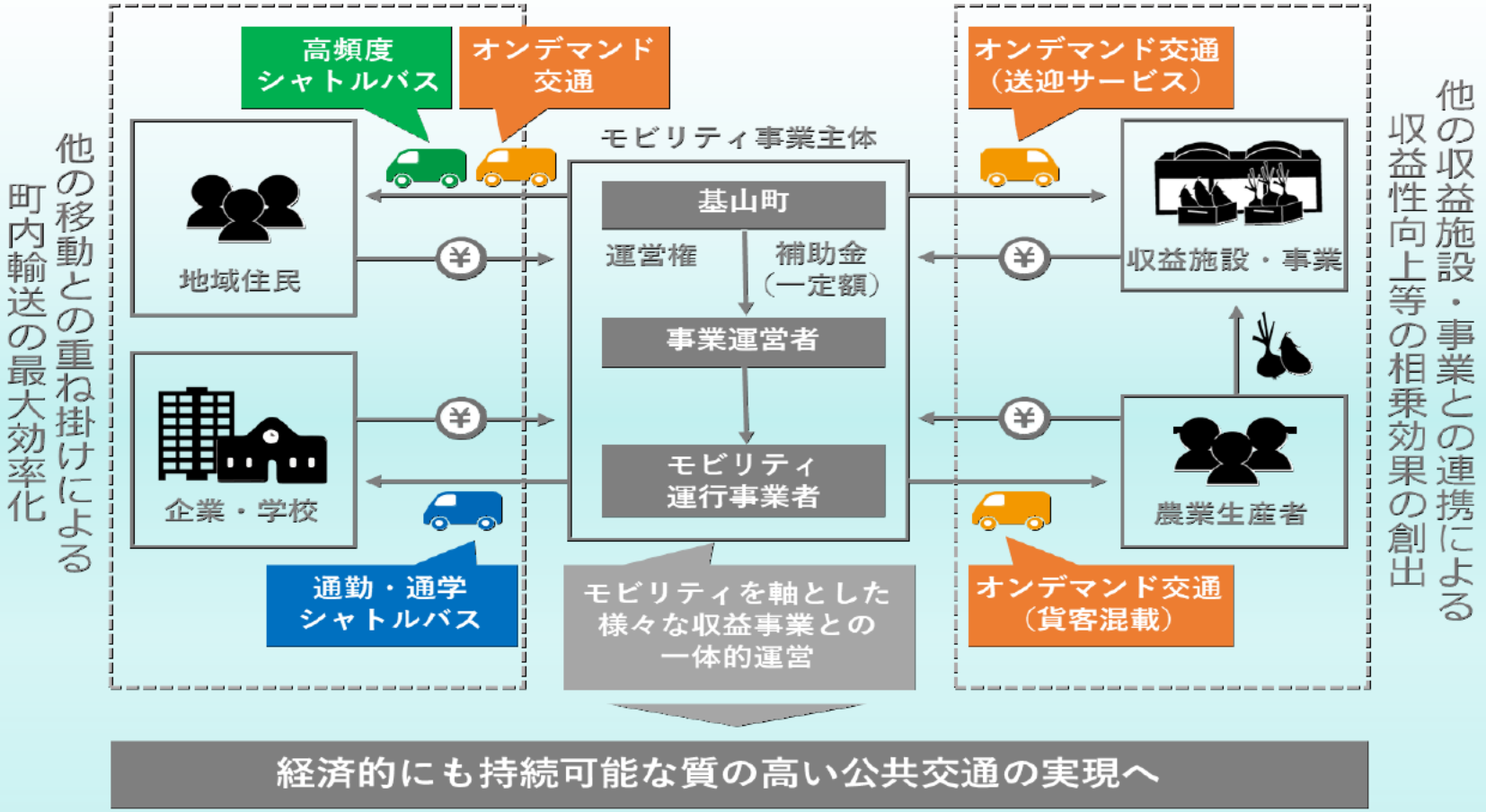


地方都市における持続可能なモビリティ事業の提案（佐賀県基山町）

◆地方都市のモビリティサービスのあり方検討（九州経済連合会と連携）

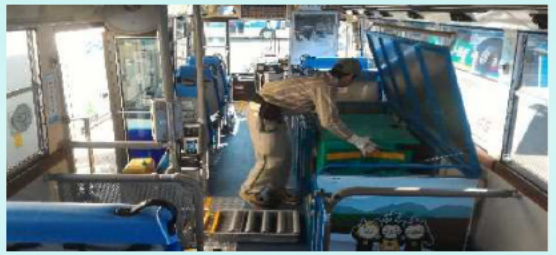
- 他の収益事業との一体的運営による経済的に持続可能なモビリティ事業プランを提案
- 「令和3年度地域新MaaS創出推進事業（スマートモビリティチャレンジ）※」の先進パイロット地域に選定

※経済産業省：新たなモビリティサービスの社会実装を通じた移動課題の解決や地域活性化を目指す（国土交通省と連携）





★町内で運行中のスクールバス



★路線バスへの貨物混載の例

コザ運動公園（沖縄市）パークPFI事業

◆沖縄県で最初のパークPFI事業の計画策定業務を受託

・宿泊施設等の収益施設を含む事業で公園全体の利用促進をねらう　・市全体への波及効果・エリアマネジメントを見据えた高度なPFI事業
・事業提案全体のプロジェクトマネージャー、コンソーシアム運営支援を担当





主力事業の鉄道設計・道路設計

◆国内外の新幹線整備プロジェクト、道路・交通結節点などの設計

・国内整備新幹線、インド国高速鉄道の高架橋の設計　　・道路、駅前広場、道の駅の計画設計

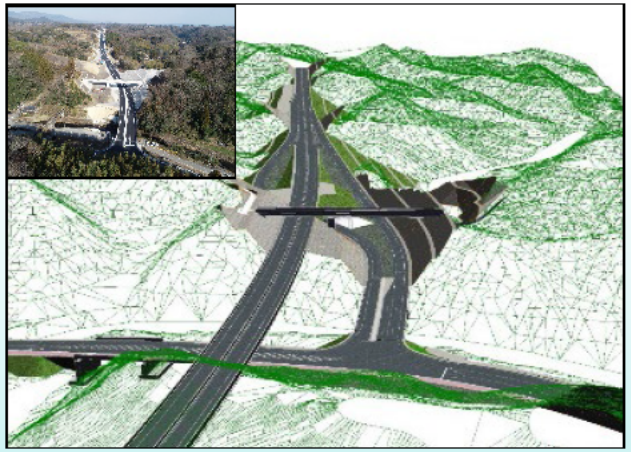
鉄道高架橋の設計、調査





出典：JRTT鉄道・運輸機構ウェブサイト

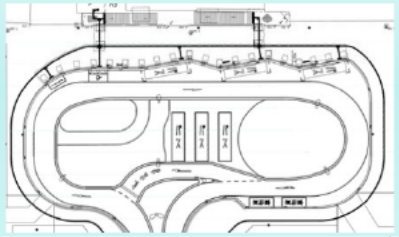
道路の計画・設計



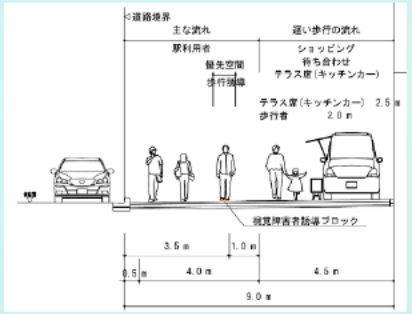




広場の計画・設計









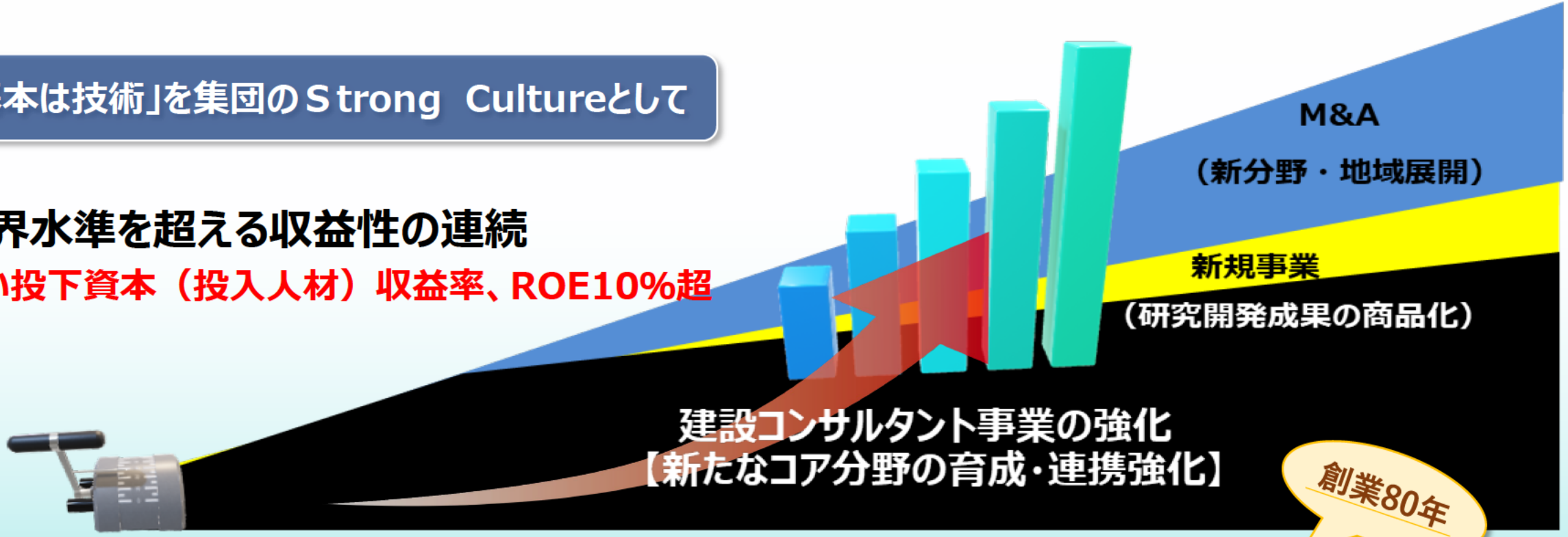


4.次期経営計画（２０２２年７月始動）に向けて

「基本は技術」を集団のＳtrong　Cultureとして

● 業界水準を超える収益性の連続

高い投下資本（投入人材）収益率、ROE10%超



期末年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
経営計画	FCC第3次長期計画	第４次中期計画			第５次長期計画（策定中）						⇒		
	基盤再整備完了	共創的進化			加速　Ver.1			⇒ Ver.2			⇒		
		Co-creation22			～Define80～								
連結企業数	5社	6社	7社	IT系分野･建コン事業分野･展開地域　拡張									

事業環境の変動（他律）に、組織の変化（自律）で集団（FCHD）の物語をつなぐ

4.次期経営計画（２０２２年7月始動）に向けて　　来春公表予定

計画のキーワード(案)「再・定義」 ～Define80～　（計画期間6年：創業80年）

約束　顧客　価値　優位事業補完事業　成長

社会資本
Player 社員
中期3年・長期6年
遊軍人材BANK
事業化3年ルール
自然資本
DX
FC物語
グループ技術研究所
FCオリジナル
新会社設置
人生
成果還元制
グループ経営チーム
中期で100億円売上高
G企業間人材レンタル&キャリアアップシステム
マトリックス編成
地域限定職員
資本政策
多様な働き方
リベラルアーツ



Founder's Consultants Holdings Inc.（新しい価値を創造する専門家集団）

「技術」が我々の提供する価値です

経営理念【Mission】

新しい価値の創造により**社会の持続的発展**に貢献します

目指す姿【Vision】

1.我々は高い技術力を基本とした事業活動で**顧客満足**を達成します
2.上質な顧客価値の創造により**利益**を生み社会と株主に対する責任を果たします
3.全従業員が仕事に誇りをもち仕事を通じて**人間的成長と幸福**を達成します

行動指針【Rule】

1.多様な分野の専門技術と連携し**社会課題の解決**に向けて**挑戦**を続ける
2.健全で透明性の高い**誠実な経営**を持続する

ＦＣホールディングス

5.過去4期の実績推移（連結キャッシュフロー計算書）

チャンスを逃さない手元資金

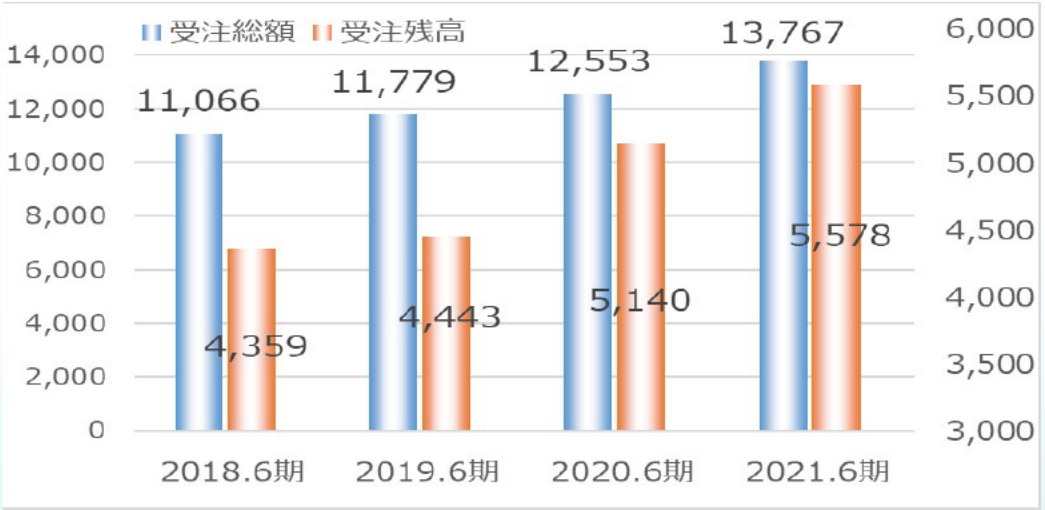
（単位：百万円）

	第2期	第3期	第4期	第５期		
	2018.6月期	2019.6月期	2020.6月期	2021.6月期	前期比	
税引前当期純利益	748	737	834	673	△161	△19.4
営業キャッシュ・フロー	510	434	21	1,472	1,451	6732.0
投資キャッシュ・フロー	△245	△244	△2,407	△333	2,073	△86.1
財務キャッシュ・フロー	6	△100	2,145	△844	△2,990	△139.4
現金及び現金同等物の増減額	271	88	△240	294	534	△222.7
現金及び現金同等物の期末残高	2,042	2,130	1,890	2,203	312	16.5

5.参考：過去4期の実績推移（連結受注総額・受注残高・売上高・利益等）

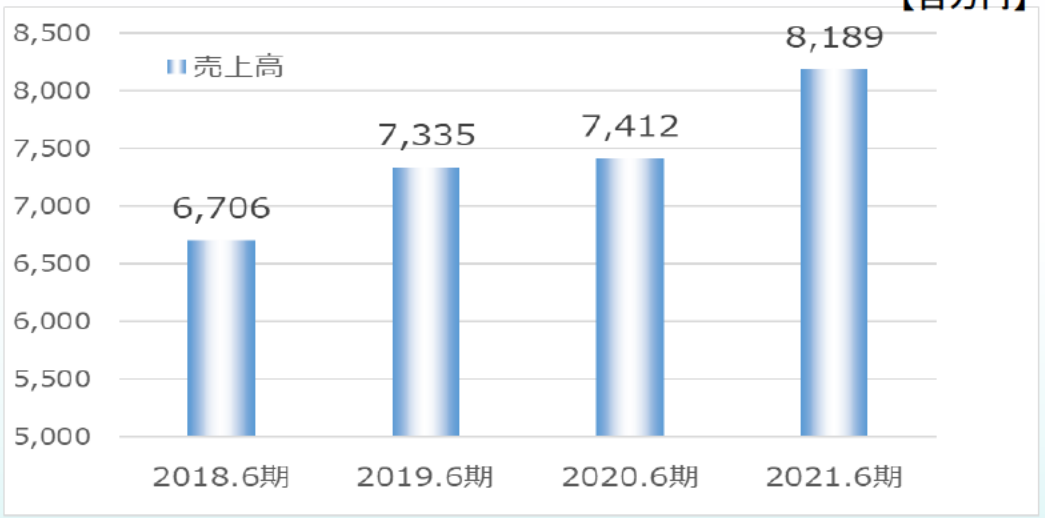
受注総額・受注残高

【百万円】



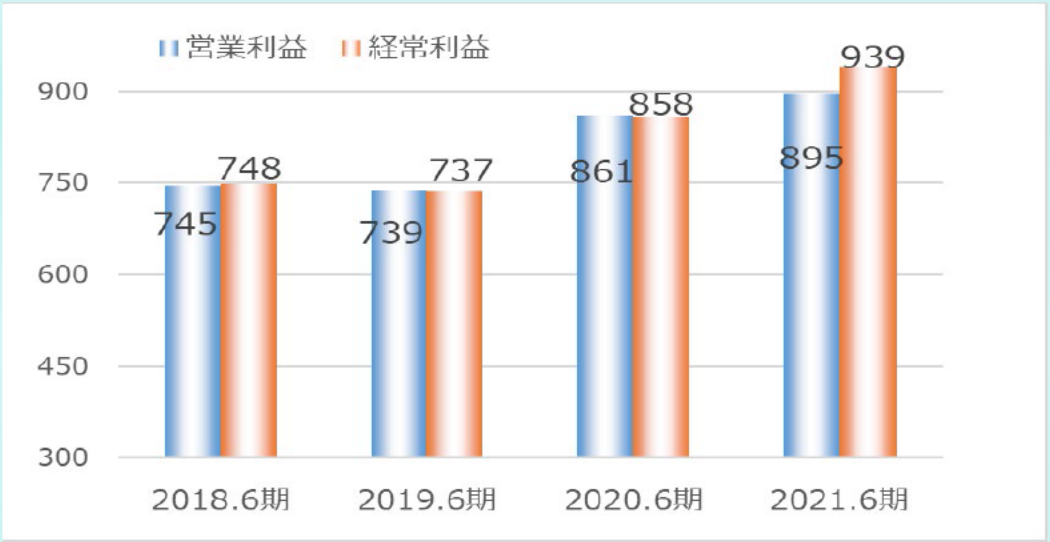
売上高

【百万円】



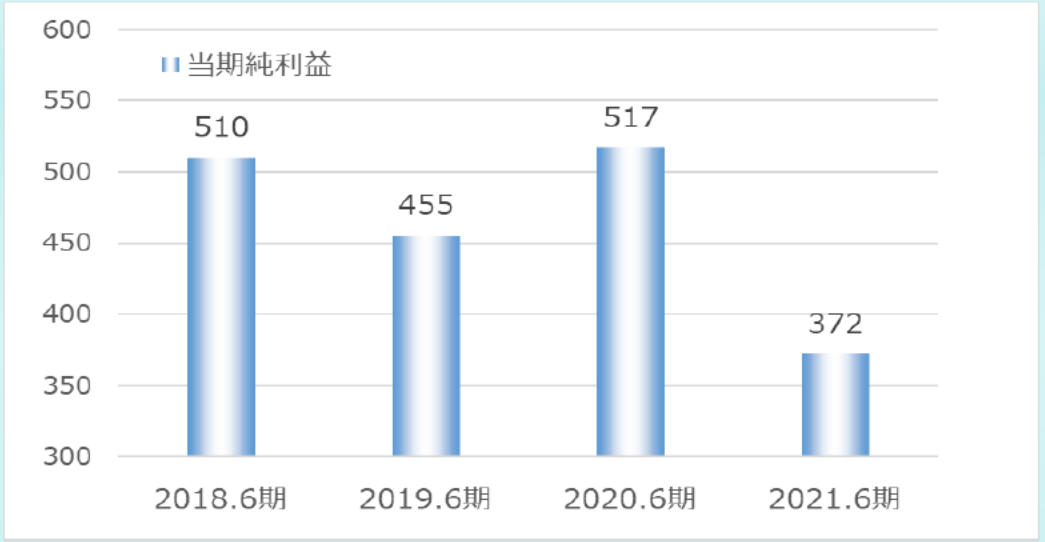
営業利益・経常利益

【百万円】



当期純利益

【百万円】

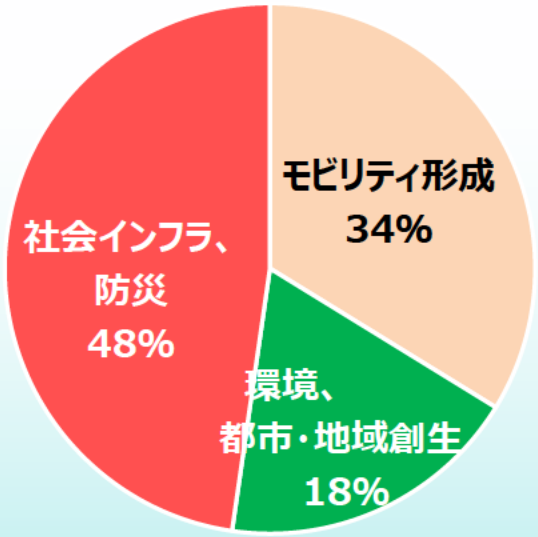


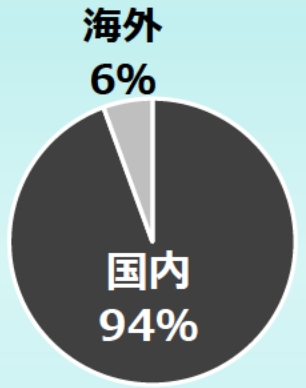
5.参考資料　2021年6月期売上高の事業分野別内訳

	（分野名称）	2020.6期（百万円）	2021.6期（百万円）	対前期比（百万円）
建設コンサルタント	モビリティ形成事業	2,585	**2,763**	177
	環境、都市・地域創生事業	1,143	**1,514**	371
	社会インフラ、防災事業	3,667	**3,903**	235
	不動産賃貸業	15	**7**	△8
	合　計	7,412	**8,189**	776

※本表では表示桁未満の端数調整があります

建設コンサルタント売上高 構成比





※不動産賃貸による収入7百万円は上記円グラフに含んでいません

5.参考資料　：　当社とグループ事業会社

株式会社 ＦＣホールディングス
◇設立　2017年1月4日　◇資本金　４億円
◇事業内容　建設コンサルタント業を中心とするグループ会社の経営管理・新規事業開発・外部連携等
◇従業員数　企業集団405名（他契約社員183名）

株式会社 福山コンサルタント
◇本社　福岡県福岡市
◇創業　1949年3月1日
◇資本金　400百万円
◇従業員数　237名（他契約社員133名）
◇有資格者　工学博士11名,技術士198名（延数）他
◇事業所　5拠点（福岡,北九州,広島,東京,仙台）その他25の支店・事務所
◇主力事業　建設コンサルタント業

株式会社 環境防災
◇本社　徳島県徳島市
◇創業　1964年8月1日
◇資本金　90百万円
◇従業員数　52名（他契約社員34名）
◇有資格者　工学博士,技術士,環境計量士,コンクリート診断士　他
◇事業所　四国４県
◇主力事業　建設コンサルタント業

株式会社 地球システム科学
◇本社　東京都新宿区
◇創業　1991年5月15日
◇資本金　40百万円
◇従業員数　30名（他契約社員9名）
◇有資格者　工学博士,技術士,環境計量士,地質調査技士　他
◇事業所　東京,ボリビア,スーダン
◇主力事業　建設コンサルタント業

株式会社 エコプラン研究所
◇本社　福岡県北九州市
◇創業　1992年2月1日
◇資本金　30百万円
◇従業員数　12名（他契約社員8名）
◇有資格者　ビオトープ管理士　他
◇事業所　北九州市
◇主力事業　建設コンサルタント業